

《めざす子ども像》

- ▶ 自らすすんで学ぶ子ども
- ▶ 互いを認め合い自分と相手を大切にできる子ども
- ▶ 健康や安全に気を付ける子ども

令和6年10月25日 発行者 柴山 敬  
http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/

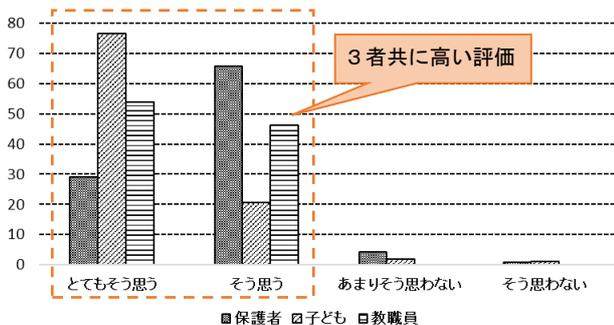
上半期の学校評価  
～ 安心感のある学校に ～

本校の上半期の学校評価アンケートについて、ご協力いただき、ありがとうございました。アンケート（保護者・児童・教員）を集約・分析した結果のうち、特徴的な内容を紹介します。皆様からの回答を参考とさせていただき、今後の教育活動の充実に努めてまいります。

安心感のある学校

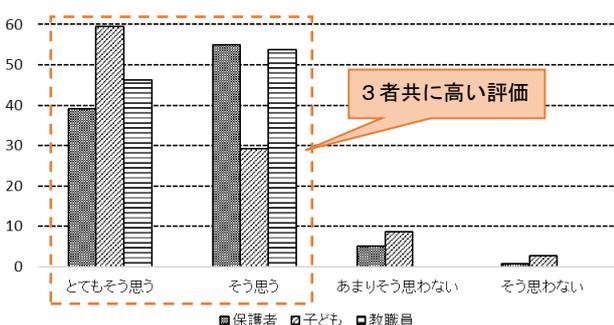
保護者・児童・教員の3者が共通して最も高評価なのは【A】「いじめはよくないと考え、友だちと仲良く安心して過ごしている」という項目でした。

【A】いじめはよくないと考え、友だちと仲良く安心して過ごしている



次に評価が高かったのは、【B】「お子さんは先生に話しかけたり、話を聞いてもらったりしている。」という項目でした。

【B】先生に話しかけたり、話を聞いてもらったりしている

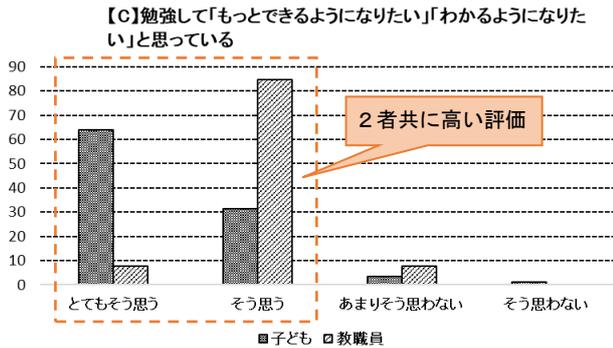


【A】【B】の結果から学校や学級での児童の人間関係は比較的良好であり、また児童と教師のコミュニケーションや相談体制があることで、安心感のある学校生活を送ることができていると考えられます。今後もいじめはいつでもどこでも起こり得ることをふまえ、教師が児童と向き合う時間を確保し、教育相談などの充実に努めていきます。

日	曜	11月の行事予定
1	金	PTAミニバレー大会
5	火	児童会⑦ 一中エリア講演会「スマホ安全教室」
6	水	ALT (そらいろ) Sアップ
7	木	ALT (3・6年) 読み聞かせ (3年)
8	金	ALT (5・4年)
9	土	北栄元気クラブ
11	月	英検ESG (6年)
12	火	朝会 ALT (6・3年) おび学 (認知症5年)
13	水	Sアップ
14	木	新入児検診 読み聞かせ (2年)
15	金	クラブ⑦
18	月	にじいろタイム⑤
19	火	参観日 (1・2年) おび学 (手話6年)
20	水	参観日 (5・6年) ALT (4・6年) Sアップ
21	木	参観日 (3・4年) ALT (5・6年) 読み聞かせ (1年)
22	金	参観日 (そらいろ) ALT (5・3年)
26	火	おび学 (アイヌ文化4年)
27	水	Sアップ
28	木	読み聞かせ (3年)
29	金	おび学 (食育5年)

## 学習への意欲

昨年度と比較して著しく評価が高くなったのは【C】「勉強して「もっとできるようになりたい」「わかるようになりたい」と思っている。」という項目でした。学習は内容の理解だけでなく、学習に向かう前向きな姿勢を高めていくことが必要です。



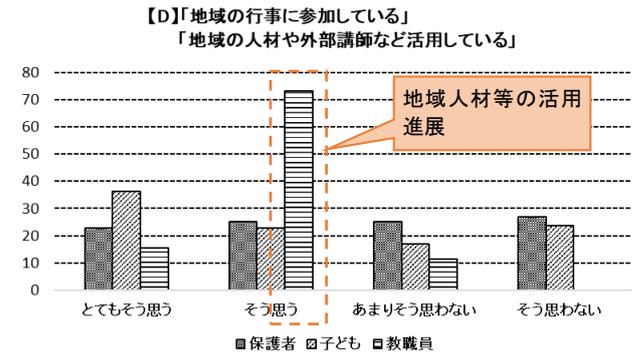
本校では今年度の校内研究主題を「自分らしさを生かし、ともに学ぼうとする子どもの育成」と設定し、子供が「解決したい」と思う課題に取り組むことのできる場を授業に取り入れることを試んでいます。個別の学びや協働による学びを一体的に進める中で、子供たちに「なぜ? どうして?」から「調べてみたい」「実現してみたい」という意欲を引き出せるようにしていきます。

## 地域との連携

本校ではコミュニティ・スクール等を通じて、学習スタジアム、ラジオ体操、ファン・ランニング(うらほろマラソン)など、地域と連携した教育活動を展開しています。【D】「地域の行事に参加している。」「地域の人材や外部講師など活用している。」という項目では、昨年度よりも地域の人材や外部講師などの活用は進んでいるという評価になりましたが、児童の地域行事への参加については一定の評価を得ることができませんでした。

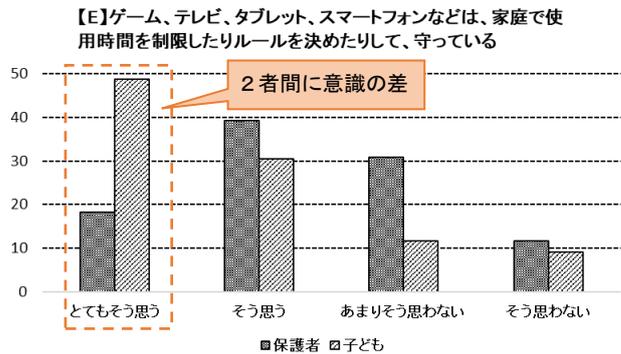
今年度は5年ぶりに「北栄こども祭り」が開催され、PTAをはじめ、おやじ倶楽部、北栄げんきクラブなど地域の団体の参画によって大盛況でした。今後こうした行事をきっかけに、コミ

ュニティ・スクール協議会を中心に活動や取組の充実を図っていきます。



## メディアの使用時間などのルール

【E】「ゲーム、テレビ、タブレット、スマートフォンなどは、家庭で使用時間の制限やルールを決めて守っている。」という項目では、昨年度と同様、児童と保護者との間に認識の差が見られました。今日、子供たちがタブレットやスマートフォンなどを使用する機会や時間が多く、ネットトラブルや「依存」が大きな問題となっています。



本校でもSNSでの不適切なコンテンツの投稿によって人間関係のトラブルに発展する事案や、端末の長時間の使用によって生活習慣が乱れ健康や学習に悪影響を及ぼす事案など、心配な問題が生じています。

今後、現状を踏まえた指導の充実や家庭でのルール作りを促すため、保護者や教職員を対象とした研修会などを通じて、学校と家庭で一緒に理解を深めていきたいと思います。

